



かなざきひさの町政報告

(金崎ひさ)

カット 三留正子

H 13. 7. 30

かなざきひさを応援する会・会報 14 号 発行責任者 伏見 小枝

暑中、お見舞い申し上げます。

気持の準備もないうちに、梅雨をとびこえ夏に突入、といったかんじです。昔、扇風機やエアコンといった、文明の利器がなかった頃、人はいかに、この夏の暑さを過ごそうかと、いろいろ工夫しました。“うちわ”を考え“すだれ”や“風鈴”を思いつきました、想像力、発想力とは素晴らしいものです。今もあらゆる面に人の発想力が生かされています。町の中にも階段に手すりがついたり、スロープがついたり、車イスの人でも楽しめる海の家ができたり——『想像力』『発想力』というのは『思いやり』といいかえることができるのではないのでしょうか。人が少しでも、お互いに気持よく過ごす為の『想像力』。「あの人はきっとこうしてほしいのだろう（と想像し）力になってあげよう」と、いうように。物理的なものばかりでなく、人の気持を想像し、それを行動に移してあげる。それがすなわち『思いやり』ではないのでしょうか。暑い夏、お互いに涼しい風になって、快適に過ごしたいものです。まだまだ暑さは続きます。どうぞ皆様お身体には十分気をつけてお過ごし下さい。

かなざきひさを応援する会会長 伏見小枝

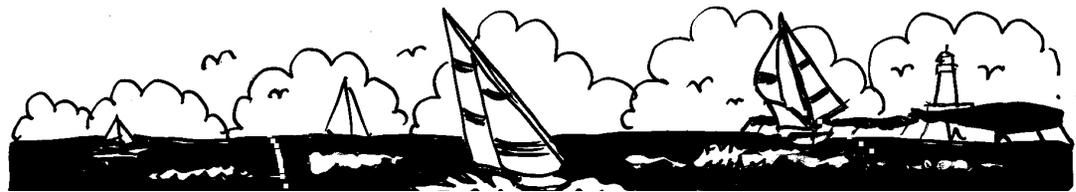
葉山町議会第 2 回定例会が開催されました。 期日平成 13 年 6 月 18 日～6 月 28 日

一色小学区に学童クラブ新設！

第 1 回定例会において、かなざきひさの一般質問に対し、「6 月議会に補正予算で対応したい」という、答弁がありました。今回 244 万 6 千円の補正予算が提出され、慎重審議の結果、阿部勝雄・伊藤純子・近藤昇一・畑中由喜子・森勝美 各議員の反対がありましたが、賛成多数で可決されました。これで、各学校区に学童クラブができました。保護者の方々の 2 年にも及ぶ、増設のための活動を見守ってききましたので、本当に良かったと思っております。1 歩ふみだすことにより、今後の 4 つの学童クラブの充実に向けて、行政はさらなる努力をする必要かあると思っております。

○かなざきひさの一般質問

(1) ごみ問題について



葉山町のごみ行政は、4 市 1 町（横須賀・鎌倉・逗子・三浦・葉山）の広域化を進めようとしております。平成 14 年 4 月 1 日の広域連合設立に向けて準備中です。

質問と提案	理事者側の答弁
ごみ処理を広域化に決定した根拠は。	ごみ対策協議会の委員はじめ多くの町民の意見を前提に決定した。 (町長)
自区処理が一番経済的と考えるが。	100 t 炉未満では補助金がかかず、単独では過剰に負担がかかる。 (町長)
横須賀三浦ブロック広域連合設立準備委員会への支出金が 3 年間で 1578 万円になっている。稼動までに 10 年かかり、その間の町の炉のダイオキシン対策・広域ごみ処理施設の建設費・維持管理費のトータルを考えても経済的なのか。	他地域の広域対応の状況を見てみると、それなりのメリットがあり、予算面からも、安く対応できると思う。 (町長)
広域でなければできない良さとして、最終処分場のいない、熔融炉の建設が最適と思うが。	コストがかかってもリサイクルすることと、24 時間燃すことによる熱量利用などを根底に、技術革新が進んでいるので、将来の展望を含みながら、この問題に対応したい。 (町長)
平成 14 年立ち上げ準備中の広域連合とは。	ごみに関する全ての決定機関。 (町長)

参考 熔融炉とは、最終処分場のいない炉です。下水道汚泥をはじめ、全てのごみを 24 時間対応で高温処理し、スラブとメタルにする。スラブは路盤材として、メタルは重機の重しとして需要がある。高額ということと、ごみの量が足りないということで、葉山町独自の対応としては難しい。ごみ処理広域化ならではのメリットとして、熔融炉の活用を提言いたしました。

質問と提案	理事者側の答弁
大型店に対し、過剰包装を控えるよう、町独自の協力要請は実施したのか。	「なるべく控えて欲しい」という話はしている。 (石塚福祉環境部長)
ごみの有料化は。	極力負担をかけないように配慮しているが、検討は必要。 (町長)
過大な負担は困るが、ごみ袋自体は市販の物を買っているのだから、町独自のごみ袋を作って、それにより少しでも収益を上げてはどうか。	納税の見返りとして、ごみ収集が無料だということが、一番ありがたいという町民のご意見があるので状況をみて判断したい。 (町長)
ごみの43%を占める紙の分別収集は。	14年のスタートを絶対やるぐらいの覚悟で指示をし、対応を図りたい。 (町長)
布の分別収集は。	17の自治会に収集を依頼し、集団回収に努めている。 (町長)
ごみステーションでの布の分別収集は。	化学製品と自然素材が、まとめてステーションに入ってくると、分別が現実的に困難な状況になり、もっと知恵を絞りながらリサイクルする方法を考える。 (町長)
<p>かなざきひさの考え 大型ごみなどに関して他市は有料化されている。そのため、無料の葉山町に持ち込まれるケースが増えている。町民サービスのため、町長は有料化にふみきれないでいるが、他市から持ち込まれるごみ処理にも町税が費やされているということです。過大な負担ではなく、有料化することが、かえって町民サービスにつながるようになるかもしれない。</p>	

(2) 町立保育園について

小泉総理大臣は、子育て支援策として、保育園待機児童を2004年までに解消するという方針を打ち出しました。葉山町は、第1回定例会で、町立保育園の拡充のための、庁内検討委員会を設置すると、かなざきひさの質問に答えておりますので、引き続き質問項目に入れました。

質問と提案	理事者側の答弁
庁内検討委員会の設置は。	7月に設置する。 (町長)
庁内検討委員会のメンバーは。	福祉課・保育園・管財課・財政課・企画課を予定している。 (町長)
建て替えを視野に入れるのか。	そのとおり。 (町長)
候補地としては。	旧役場の跡地利用を考えている。 (町長)
障害児（親は働いていない）を町立保育園に受け入れる対応の可否を国・県に問い合わせたか。	県に問い合わせたが、親が就労していなければ受け入れられないとのことであった。国には聞いていない。 (石塚福祉環境部長)
国に問い合わせたら、集団に入りたいと願う障害児の人権を守るために、特別一時補助事業がある。利用するつもりはあるか。	精査・研究する。 (石塚福祉環境部長)
<p>かなざきひさの考え 町立保育園の建て替えを視野に入れた庁内検討委員会が設置されることになりました。建て替え場所として、町長は旧役場跡地の利用を考えていると明言されました。是非、町長の任期中に実現されるよう要望しました。葉山の各小・中学校で障害児との交流が行われておりますが、町立保育園においても、障害児との交流保育が可能になるような施設整備がなされるよう、提言しつつけます。</p>	



下り列車の1番線ホーム到着時刻 (平成13年7月現在・JR 逗子駅)	
平日	土休日
13:26	9:22
13:46	11:39
15:07	12:33
17:13	16:23

JR逗子駅にエスカレーター又はエレベーターの設置を求める住民運動が行われております。高額な予算が伴うため、その応急処置として、下り電車の1番線ホーム到着を増便して頂くよう、昨年よりJR逗子駅長にお願いしておりましたが、この度、6月16日に住民代表とかなざきひさが連名で、要望書を提出いたしました。早速対応して頂き、7月のJR東日本の会議に議題として、のせて頂くことになりました。次回のダイヤ改正で1本でも増便がかなえばと願っております。

※エスカレーター又はエレベーターの設置のための署名運動が行われておりますので、ご協力頂ける方はご連絡下さい。



その他ご意見、ご要望などお聞かせ下さい。